**シンプル名刺管理**

**要件定義書**

チーム名：株式会社ＳＥプラス

2024/06/01 第１版

改訂履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版数 | 日付 | 担当者名 | 備考 |
| 1 | 2024/06/01 | 冨原　祐 | 新規作成 |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |
| 6 |  |  |  |
| 7 |  |  |  |

# 概要

以下に、名刺管理Webアプリケーション「シンプル名刺管理」（以下、本システム）開発に関する概要を示す。

## システム開発の背景

本システムは、A社が新規事業として立ち上げるB to Cサービス「シンプル名刺管理」事業にて、インターネット経由での名刺管理を実現するものである。

月額課金を行うことで収益化することを目的としている。

既に競合サービスが存在することから、Webサイト訪問者に対し、高い視認性や操作性を提供することが重要である。

## システムの目的

本システムは、ユーザーの月額料金が主な収益源となる。サービス開始後、１年後の目標アカウント数は20,000件、月額480円を想定しており、有料会員は全体の3%を見込んでいるため、1年後には月額約28万円の売り上げを想定している。

５年後の目標アカウントは200,000件となっており、３年後を目途に機能追加による月額料金プランの増加を行い、月額約900万円の売上高となる見込みである。

200,000件のアカウントから想定される名刺数は2,000万枚であり、１日あたり最大5万枚の名刺データが登録・更新処理されることを想定している。

また、利用者による名刺の追加・編集だけでなく、名刺の検索についても、多くのステップを踏むと「面倒だ」と感じる可能性が高い。

競合サービスが存在することからも、ログイン後、名刺追加までのステップは最短３クリックで登録完了となるようにする。

同様に、検索時には一覧表示画面表示後、入力・検索ボタン押下という２ステップで検索が完了するようにする。

加えて、その最短ステップのルートが、訪問者に対して画面上で明確になっているものとする。

## システムの全体像、開発方針

本システムは、Webサーバ１台とデータベースサーバ１台で構成するWebアプリケーションである。

ユーザーはWebサーバにhttpまたはhttpsでアクセスすることにより、名刺を管理することが可能である。初回利用時はメールアドレスを利用し、ユーザー登録を行う。

開発言語・アーキテクチャはJavaのServlet＋jspを利用し、その他、JavaScriptを利用する。

データベースはH2データベースを利用する。

本システムは、事務所でPCから閲覧するケースと、外出中にスマートフォンから閲覧するケースを想定する。このとき、URLを分けるのではなく、レスポンシブデザインにて対応する。

# システム要件

以下に、本システムの要件を示す。

## 機能要件

### 機能概要

本システムは、以下のように大きく３つの機能を持つ。

1.ユーザー登録機能

2.名刺検索機能

3.名刺登録／編集／削除機能

それぞれの機能についての概要は以下の通り。

1.ユーザー登録機能

訪問者がユーザー登録を行う機能である。

基本的な流れは、訪問者がメールアドレス、氏名、を入力し、登録を行う。その際、本システムより入力されたメールアドレス宛に、確認メールを送信する。

訪問者は、受け取ったメールに記載されたURLにアクセスし、パスワードを設定して登録を完了する。

2.名刺検索機能

ログイン後、名刺の一覧を表示する。1ユーザーが登録できる名刺最大枚数は1000枚とし、100枚を読み込んで表示する。100枚以上の場合、最後に表示した名刺の次に「さらに読み込む」ボタンを表示し、ボタン押下により次の100枚を読み込む。

一覧画面上で、キーワードを入力することで検索が可能である。キーワードが会社名・氏名・住所のいずれかと部分一致した名刺を絞り込んで表示する。

キーワードをスペース区切りで複数指定した場合、AND条件の絞り込み検索となる。この時のスペースは、半角・全角どちらも利用可能である。

3.名刺登録／編集／削除機能

新規登録のボタンを押下することで、新規に1つの名刺データを追加できる。

同様に、既に登録されている名刺データ上で編集ボタンを押下することで、対象の名刺を変種することが可能である。

既に登録されている名刺データ上で削除ボタンを押下することで、対象の名刺を削除することが可能である。このとき、削除時は削除していいかどうかを確認するための確認ダイアログを表示する。

### 機能詳細

以下に、機能の詳細を示す。

機能詳細を記述する機能の一覧は以下の通り。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大項目 | 機能名 | 備考 |
| ユーザー登録 | 情報登録 | メールアドレス・氏名の登録 |
|  | 確認メール送信 | パスワード設定画面用URLの記載された、自動メール送信 |
|  | パスワード登録 | メールに記載されたURLクリックによって表示される、パスワード登録 |
|  | 完了メール送信 | パスワード登録が完了し、ユーザー登録が完了した旨の自動メール送信 |
| 名刺検索 | 一覧表示 | 名刺画面表示時、初期表示として一覧表示を行う。 |
|  | 追加読込 | 100件以上の名刺データがあるとき、追加でデータ読込を行う。 |
|  | 検索 | キーワードで名刺データを絞り込んで表示する。 |
| 名刺登録／編集／削除 | （省略） |  |

1.ユーザー登録機能

1.1 情報登録

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 情報登録機能 |
| 概要 | 新規ユーザーの情報を登録する。 |
| 処理内容 | メールアドレス、氏名を入力し、データ登録する。  メールアドレスと氏名は必須である。 |
| 想定利用者 | 訪問者 |
| 備考 | エラー表示のパターン・表示方法などは外部設計にて明確にする。氏名は海外のユーザーも考慮し、それぞれ100文字まで格納できるようにする。  メールアドレスは仕様上、最大で300文字を超えるが、一般的なユーザーを考慮すれば十分であるため、100文字まで格納できるようにする。 |

1.2 確認メール送信

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 確認メール送信 |
| 概要 | 訪問者にメールを送信する。 |
| 処理内容 | 訪問者がユーザー登録を行う際、メールアドレスの存在確認のために登録したメールアドレスに自動メール送信を行う。また、そのままパスワード設定を促すためにメール内にURLを記載する。  URLは入力したメールアドレスがそのまま記載されてしまうと、知っているメールアドレスを試すことができてしまうため、セキュリティ上の問題がある。入力データを特定するためのキー項目としてURLに自動的に付与するパラメータは、ランダムな文字列を利用する。 |
| 想定利用者 | 訪問者 |
| 備考 | 1.1.情報登録の処理直後に動作するため、画面は存在しない。 |

1.3 パスワード登録

（省略）

1.4 完了メール送信

（省略）

2.名刺検索機能

2.1 一覧表示

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 一覧表示機能 |
| 概要 | 初期表示時、対象ユーザーの登録した名刺データを一覧表示する。 |
| 処理内容 | 画面表示時、名刺データを取得し、一覧で表示する。 |
| 想定利用者 | 登録済みユーザー |
| 備考 | 1件も名刺データが存在しない場合、メッセージ欄に「まだ名刺が登録されていません。」と表示する。  1件以上、100件未満である場合は全ての名刺を表示する。  101件以上の名刺データが存在する場合、登録順に先頭から100件の名刺データを表示し、100件目の名刺の後に「さらに読み込む」ボタンを表示する。 |

2.2 追加読込

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 追加読込機能 |
| 概要 | 100件以上の名刺データが存在するとき、追加で名刺データを読み込んで表示する。 |
| 処理内容 | 「さらに読み込む」ボタンをユーザーが押下した時、既に読み込んだ件数移行のデータを最大100件まで読み込んで表示する。  追加で読み込んだデータ以上のデータが存在しない場合は「さらに読み込む」ボタンを消す。まだデータが存在する場合は「さらに読み込む」ボタンを表示したままにする。 |
| 想定利用者 | 登録済みユーザー |
| 備考 | 100件のデータを読み込んだ状態であれば、101件目～200件目までのデータを取得する。  既に表示されている名刺データはそのままで、既に表示されている名刺データの後に、新規に取得した名刺データを表示する。 |

2.3 検索

|  |  |
| --- | --- |
| 機能名 | 検索機能 |
| 概要 | 検索キーワードを入力し、検索ボタンを押下することで、現在表示されている名刺データを検索後のデータに置き換える。 |
| 処理内容 | 検索キーワードが入力されていない場合は全件を表示する。  検索キーワードが入力されている場合、キーワードが名刺データの会社名・氏名・住所のいずれかと部分一致したデータを最大100件取得し、表示する。  検索結果としてヒットするデータ件数が100件を超える場合、100件だけを取得して100件目の名刺の後に「さらに読み込む」ボタンを表示する。 |
| 想定利用者 | 登録済みユーザー |
| 備考 | 「さらに読み込む」ボタンの動作は一覧表示機能と同様である。ただし、追加読込時に読み込むデータは検索キーワードに一致するデータを最大100件読み込む。 |

3.名刺登録／編集／削除機能

（省略）

## 非機能要件

### 保守性

　（今回は割愛）

### 拡張性

　（今回は割愛）

### 移植性

　（今回は割愛）

### 性能目標

　（今回は割愛）

## セキュリティ要件

　（今回は割愛）

## 品質目標

　（今回は割愛）